

令和6年度 下野市行政評価市民評価 ヒアリング資料 事務事業番号 206

事務事業名	地域づくりに向けた支援事業		所管部課	健康福祉部	社会福祉課	
事業目的	下野市では、地域共生社会の実現に向けた事業を推進しています。特に、少子高齢化や地域のつながりの希薄化により、複雑・複合化した課題を抱える市民の皆様に対して包括的な支援体制の構築を図ることを目的に、3つの支援として、①属性を問わない相談支援、②社会参加支援、③地域づくりに向けた支援を軸とした「重層的支援体制整備事業」に取り組んでおります。					
事業概要	「重層的支援体制整備事業」における地域づくり支援として、世代や属性を超えて誰もが参加できる新たな居場所の提供に向けて取り組んでいます。主な取組として、今年度(R6)から、社会福祉課内に配置した地域づくり支援コーディネーターが中心となって、市内各地域のコミュニティセンターや公民館を会場に「地域子ども食堂」を試行的に開催しています。また、共生社会のまちづくりを推進するため、「ひきこもり支援」に関する市民向け講演会を開催しています。					
総合計画での位置付け	1 大切な命を育み、健康で笑顔あふれるまちづくり 5 誰もが安心して暮らせるまちづくり 1 地域福祉の充実	重点事業区分	—	類型区分	I	
事業区分	新規・継続	新規	事業の種類	ソフト事業	市裁量の有無	裁量あり
根拠法令等	社会福祉法					
補助団体	—					
年度別	事業計画	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	事業費	0千円	0千円	0千円	2,396千円	2,396千円
対象年度(令和7)	事業費内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援包括化推進員(地域づくり支援) 1名人件費(報酬1,608千円、職員手当等661千円、事務用品10千円)</li> <li>地域共生社会の実現に向けた講演会:報償費(講師謝金50千円、要約筆記40千円)</li> <li>交流の場における食材費等:食糧費21千円、保険料6千円</li> </ul>				
	財源	国県支出金	地方債・その他	一般財源	1,198千円	千円
その他(過年度実績・特筆すべき点等)	<p>・<b>地域コミュニティを形成する「居場所づくり」(地域づくり支援コーディネーター)</b>                      [目的]多世代が交流できる居場所の提供に向けて、本市に不足している「地域子ども食堂」を試行的に開催することで、地域住民のニーズや生活課題の把握、担い手育成に向けた調整を行う                      [実施状況]R6.7/7コミュニティセンター友愛館(参加者:大人15名・子ども4名)、8/23GTコミュニティセンター(参加者:大人14名・子ども5名)、9/29石橋公民館(参加者:大人21名・子ども17名)                      [開催予定]12/15GTコミュニティセンター、R7.1.26国分寺公民館、R7.2石橋公民館</p> <p>・<b>地域づくりに向けたアウトリーチ(地域づくり支援コーディネーター)</b>                      福祉まるごと相談窓口での相談対応の中で、障がい者の居場所である地域活動支援センターゆうがおの利用へつなぐなど、福祉サービスの利用へ結び付けている。地域の課題やニーズを把握するため、健康福祉部内で開催される受理ケース会議に参加している。</p> <p>・<b>地域住民のニーズや生活課題の把握(地域づくり支援コーディネーター)</b>                      [目的]社会福祉協議会が開催する地域づくり会議(月1回)に参加することにより、市民のニーズや生活課題、それらに対応する社会資源の充足状況などについて実態を把握する。                      [参加会議]生活支援体制整備事業合同連絡会議(生活支援コーディネーター、地域包括支援センター、市、社会福祉協議会)、3地区第2層協議体(生活支援コーディネーター、地域包括支援センター、地域活動に興味のある市民)</p> <p>・<b>講演会「当事者が語る「ひきこもり」と「不登校」について～ともに考え ともに歩む～」の開催</b>                      [開催日時]R7.3.8(土)13:30～15:30 [会場]市役所会議室 [講師]当事者及び家族 [定員]80名</p>					

事業推進方針判断に際しての3つの視点					
必要性	A	○	全て	要件(3項目) <input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合。 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案が無い、もしくは最適な方法である。 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある。	
	B		1以上		
	C		なし	市裁量がない事業(⇒A評価とする)	
有効性	A		全て	要件(3項目) <input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与。 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する。	
	B	○	1以上		
	C		なし	市裁量がない事業(⇒A評価とする)	
効率性	A		3以上	ソフト事業(要件:6項目) 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す	ハード事業(要件:3項目) 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる。
	B	○	1以上	<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正。 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携。 他自治体等と比較し、適切な方法である。 指定管理者制度導入等、民間活力を活用。	適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である。 マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている。
	C		なし	管理業務等で、さらなる効率化は困難。	
試行的に実施している「地域子ども食堂」は、対象者を限定しないことから公平性を保持しています。また、子ども家庭センターや学校教育サポートセンター、不登校親の会、ひきこもり支援団体などと連携しながら実施しています。					

総合評価	○	継続実施
		見直し実施
		廃止

## ■7/7 地域・こども食堂（友愛館）

## 【参考】



### 【参加者】

大人 15名 子ども 4名

### 【次回の参加希望】

8名

### 【参加者の主な感想など】

- ・地域食堂の運営に少しでも協力したい
- ・色々な年代の方と交流が出来てよかった
- ・地域の居場所として大切な場所
- ・多くの方への周知と参加
- ・資金が大変
- ・定期的に開催されると良い

## ■8/23 地域・こども食堂（GTコミュニティセンター）



### 【参加者】

大人 14名 子ども 5名

### 【参加理由】

- ・興味あり7名、交流の場3名

### 【参加者の主な感想など】

- ・ホールで交流ができて楽しめた
- ・地域食堂の必要性が少し分かった
- ・協力できることがあれば手伝いたい
- ・世代間交流できることが素晴らしい
- ・場所が決まれば協力したい
- ・年代を超えての食事は楽しい
- ・案内が十分でなかったように感じた

## ■9/29 地域・こども食堂（石橋公民館）



### 【参加者】

大人 21名 子ども 17名

### 【参加者の主な感想など】

- ・市内に地域の人が集まれる場所を作ってほしい
- ・学生の立ち上げ支援として裏方でお手伝いできれば
- ・鉄は熱いうちに打て
- ・子ども食堂が開設されるよう継続してほしい
- ・石橋公民館は場所も良いと思います

# 下野市における重層的支援体制整備事業のイメージ

資料1

